

森町地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

森町は、幹線系統として鉄道とバス路線が運行しているものの、地域によっては、これら公共交通を利用するには自宅から移動距離が長く、交通空白地域が散見されている。また、令和5年4月に函館バス(株)が運行する濁川線が廃止となり、濁川地区においては森町市街地までの移動手段だけでなく、JR駅までの移動手段がなくなったため、地区住民の生活維持に向けては、町内交通の拡充が重要である。
そのため、住民の生活の足の確保に向け、森町市街地内を周遊し定期的に利用できるモビリティの確保と生活圏自治体である函館市までの重要な移動手段である鉄道や一般バス路線の利用者数の確保に向け、これら幹線系統との連動性を高めた町内交通を充実させることを目標に地域内フィーダー系統の構築を進めているものである。

地域公共交通の現況

- ・ JR函館本線（本線）（森駅、赤井川駅、駒ヶ岳駅、石倉駅）
- ・ JR函館本線（支線）（渡島沼尻駅、渡島砂原駅、掛瀬駅、尾白内駅、東森駅）
- ・ 函館バス(株)（町内2路線）
- ・ スクールバス（2路線）
- ・ タクシー（2社）

生活交通確保維持改善計画の目標

【利用者数】

- ・濁川線:1,400人/年以上
- ・駒ヶ岳赤井川線:1,200人/年以上

【運行収入・支出等】

- ・濁川線:300,000円/年以上
- ・駒ヶ岳赤井川線:250,000円/年以上
- ・森町の支出:8,000,000円/年以内

【収支率】

- ・濁川線:5.0%/年以上
- ・駒ヶ岳赤井川線:5.0%/年以上

協議会開催状況

- 令和6年4月17日 第1回会議(書面)を開催
主な協議事項 森町地域公共交通バスの今後の運行形態の承認可否について
- 令和6年6月17日 第2回会議を開催
主な協議事項 地域公共交通計画認定申請について
- 令和6年8月20日 第3回会議を開催
主な協議事項 今後の運行形態について
- 令和7年1月9日 第4回会議(書面)を開催
主な協議事項 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

令和6年度事業概要

○運行系統:濁川線①(高校通学便)

運行区間:濁川地区～森市街地 運行回数:121回
運賃:地域外での移動300円、地域内での移動100円

○運行系統:濁川線②

運行区間:濁川地区～森市街地 運行回数:139.5回 運賃:地域外での移動300円、地域内での移動100円

○運行系統:駒ヶ岳赤井川線

運行区間:赤井川地区～駒ヶ岳地区～森市街地 運行回数:198回 運賃:地域外での移動300円、地域内での移動100円

令和6年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

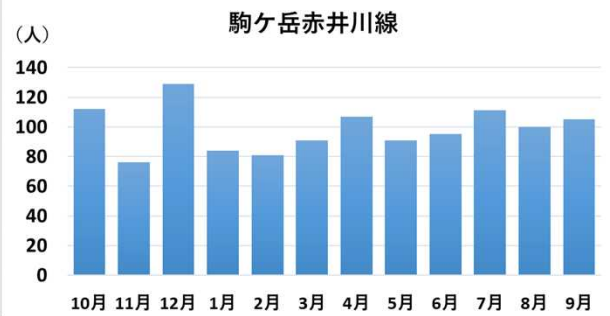
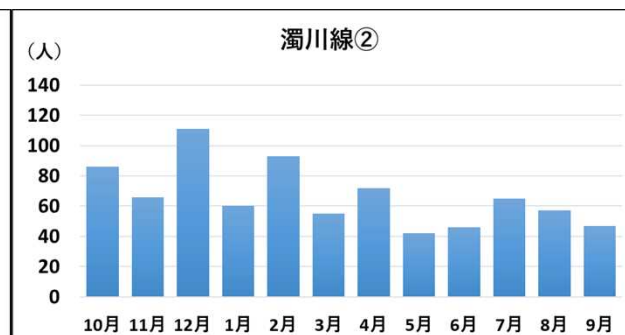
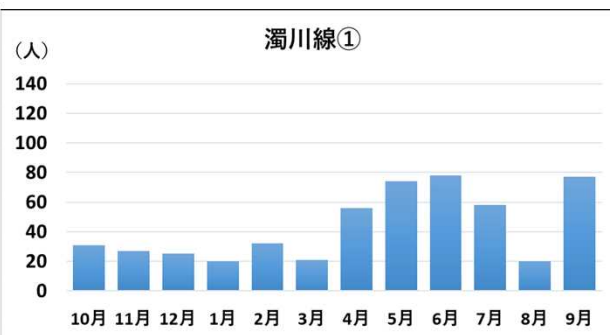
- ・地域での意見交換会や直接の聞き取りで得た意見を基に、令和4年10月より実証運行を開始した。実証運行期間においても、バス車内での聞き取りや地域での意見交換会を行い、運行曜日・停留所等住民のニーズに合わせた本格運行の内容となった。
- ・車両について、町民に親しみを持ってもらえるようラッピングを施し、公募の上愛称をつけた。また、高齢者が乗り降りしやすいようにステップを装備した。

2) 運行系統



3) 利用実績

年月	利用実績 (人)		
	濁川線①	濁川線②	駒ヶ岳赤井川線
10月	31	86	112
11月	27	66	76
12月	25	111	129
1月	20	60	84
2月	32	93	81
3月	21	55	91
4月	56	72	107
5月	74	42	91
6月	78	46	95
7月	58	65	111
8月	20	57	100
9月	77	47	105
計	519	800	1,182



4) 収入実績

年月	収入実績 (円)		
	濁川線①	濁川線②	駒ヶ岳赤井川線
10月	9,300	20,000	28,600
11月	7,900	15,200	17,400
12月	7,100	25,500	29,100
1月	6,000	15,200	20,200
2月	9,600	21,900	19,500
3月	5,500	12,500	19,800
4月	16,800	14,600	23,500
5月	21,800	9,400	21,900
6月	23,400	11,000	23,100
7月	17,400	15,300	27,700
8月	5,200	12,900	22,500
9月	22,900	12,100	25,900
計	152,900	185,600	279,200



5) 事業実施の適切性

計画に登載のとおり各路線を運行・継続することができ、それにより地域住民の移動が確保され、外出促進等に繋がった。

6) 目標・効果達成状況

・濁川線①・②については、当初利用を予定していた方の市街地への転居や高齢利用者の死亡などで、目標値1,400人に対し実績値1,319人と目標数値をやや下回った。一方でルートの改善などで高校生など一定区間の利用者を取り込むなど交通空白地域の地域交通の役割をしっかりと果たせた。

・駒ヶ岳赤井川線については、目標値1,200人に対し実績値1,182人と目標数値をやや下回る結果となったが、地域交通の役割をしっかりと果たせた。

・運行収入・支出等については、濁川線が目標300,000円に対し実績338,500円、駒ヶ岳赤井川線が目標250,000円に対し実績279,200円と目標を上回ったが、森町の支出については目標8,000,000円以内に対し、実績11,917,872円と目標を超える金額となった。

・収支率については、濁川線は目標値5%に対し、実績値5.20%、駒ヶ岳赤井川線は目標値5%に対し、実績値5.16%とそれぞれ目標を上回ることができた。

7) 事業の今後の改善点

- ・町民への周知を図るため、広報やチラシなど周知回数の増加を検討。
- ・利便性の向上も踏まえて停留所やルートの改廃も必要。
- ・生活交通手段を維持・確保し、地域住民の日常生活の移動確保や地域間幹線系統との接続による広域的な移動を図るため今後も本路線は必要であるが人口減による利用見込も踏まえて今後の運行形態やダイヤの検討が懸念される。

8) 地方運輸局等における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・目標を一部達成できなかったことから、公的負担額の削減につながる施策などの事業効率を高める取組をご検討いただきたい。
- ・引き続き効果的な周知を行うなどの利用促進につながる取組を期待する。